

第1回 理事会・評議員会を開催



5月22日(火)に平成24年度第1回理事会、5月24日(木)に平成24年度第1回評議員会を、県総合福祉センターで開催し、次の議案が承認されました。

- (1)平成23年度事業報告
- (2)平成23年度一般会計、公益事業特別会計、生活福祉資金特別会計等の6会計の収支決算
- (3)平成24年度一般会計、公益事業特別会計、生活福祉資金特別会計等の4会計の収支補正予算
- (4)熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業の変更
 平成23年度の事業としては、重点的に取り組んだ①第三次県社協総合計画(21世紀ビジョン)の二年次の事業を実施、②県民の

参加協力による地域福祉活動を推進し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに取り組む市町村社協の支援、③東日本大震災被災地の災害ボランティアセンターの設置・運営支援並びにボランティアコーディネーターの養成、社会福祉施設におけるボランティア受け入れの体制整備の推進、④市町村社協や関係機関と連携しての地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の一層の充実と成年後見制度の利用支援などについて報告しました。

なお、1名の理事と4名の評議員が新たに選任されました。選任された新理事及び新評議員は、次のとおりです。

◆理事 〈任期：平成24年6月1日～平成24年11月23日〉 (敬省略)

新	所属・役職名	前
緒方孝雄	熊本市社会福祉協議会 会長	新立順子

◆評議員 〈任期：平成24年6月1日～平成24年10月31日〉 (敬省略)

新	所属・役職名	前
川口弘幸	日本赤十字社熊本県支部 事務局長	樽村善和
迫田芳夫	熊本県宇城地域振興局 保健福祉環境部長	児玉修
佐伯康範	熊本県老人クラブ連合会 事務局長	荒木豊
平川明子	熊本県ホームヘルパー協議会 会長	岩田昌代

市町村社協事務局長研修会を開催しました



5月18日(金)、KKRホテル熊本で、「市町村社協事務局長研修会」を開催し、市町村社協事務局長など44名が参加しました。

県の行政説明、県社協の事業説明では、制度改革が進められる中に市町村社協が行う地域で支え合うまちづくり活動への支援概要の説明がありました。

講義は、鹿児島県瀬戸内町社協 事務局長 榮益宏氏から、「地域に寄り添う社協活動を目指して」と題し、奄美大島豪雨災害や東日本大震災への災害支援体験を通して、自ら被災者になって気づく被災者の気持ちや地域支援ネットワークの重要性を話されました。また、次世代を担う人材育成のためセミナーや福祉情報の伝達も兼ねたラジオ番組を制作されるなど幅広く活動されていました。

14校に指定証書を交付 — ボランティア活動推進校連絡会議 —



【廣田常務が指定証書を交付】

5月9日(水)、くまもと県民交流館パレアで、本年度指定のボランティア活動推進校の担当教諭と当該市町村社協の担当者等38名が出席し、「ボランティア活動推進校連絡会議」を開催しました。(指定校名は、前号をご覧ください。)

ボランティア活動推進校事業は、昭和53年から平成20年度までの30年間、国・県の補助事業として展開してきた「ボランティア協力校事業」の補助廃止を受け、共同募金の配分金事業として、平成21年度からスタートした事業です。

会議では、県社協廣田常務理事から指定校に指定証書が交付された後、県ボランティアセンター所長が、推進上の留意点等の事業説明とボランティア活動の基礎知識についての講義を行いました。

また、西原村立山西小学校校長の合志正輝氏からは、西原村社協が運営する地域福祉センターを拠点とした子どもたちの福祉体験学習の取り組み、上天草市社協の福祉活動専門員 川口章子氏からは、あやとり、竹馬、お手玉、水鉄砲などの伝承遊びの名人さんを地域の中から探し出して、推進校等の学校に紹介する事業が報告されました。学校・社協・地域が相互に連携しながら展開すると、なお一層の成果が得られるという2つの実践報告は、各校における今後の活動の展開において、非常に参考となる発表となりました。

7市町村社協・1市町村V連へ助成 — 災害ボランティアセンター設置訓練の充実など —

市町村ボランティアセンターの機能強化や市町村ボランティア連絡協議会(V連)の活動強化を図る事業に対して助成を行う『ボランティア活動促進事業』(財源:県社会福祉振興基金)の助成先が、次のとおり決定しました。

事業区分	助成先
(1)市町村災害ボランティアセンター設置訓練事業	八代市社協、山鹿市社協、美里町社協
(2)市町村ボランティアフェスティバル開催事業	錦町V連
(3)ボランティア養成講座実施事業	人吉市社協、菊池市社協、あさぎり町社協、多良木町社協

八代市社協では、本年11月の県総合防災訓練において災害ボランティアセンター設置訓練を実施することから、訓練の資機材等の整備に活用されます。

錦町V連では、6年目の開催となる「にしきまちボランティアフェスティバル」の充実のための費用として活用される予定です。

また、傾聴ボランティア養成講座を実施する4社協にも助成し、ボランティア活動の推進を目指します。

平成24年度 生活福祉資金の貸付実績について

厳しい雇用経済情勢の下で、平成21年度の大幅な制度改正により、総合支援資金の創設や貸付要件の緩和が行われ、その後3年目となる平成23年度も、「第二のセーフティネット」として申込者世帯のニーズに対応してきました。

平成23年度の生活福祉資金の貸付件数としては399件と前年度と比べて約6割にまで減少しましたが、離職者世帯等を貸付対象とした総合支援資金及び生活福祉資金とは別に離職等にとまない、住居を失った方を対象に設けられた臨時特例つなぎ資金については、依然としてニーズがあることから、厳しい雇用情勢が継続していることを裏付ける結果となりました。


今後は、これまでの借受世帯等に対して償還を含め自立に向けた支援をどのように行っていくかが課題となることから、市町村社協や民生委員等とより連携を密にしながら支援を行っていくこととしています。

資金種類	23年度決定	
	件数	金額(千円)
総合支援資金	176件	81,829
福祉資金	福祉費	46件 26,431
	緊急小口資金	65件 4,847
教育支援資金	108件	26,052
不動産担保型生活資金	1件	20,803
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	3件	15,097
生活福祉資金 計	399件	175,059
臨時特例つなぎ資金	54件	5,398
貸付総計	453件	180,457

【23年度貸付決定状況】

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆県民間退職共済への加入のご案内◆</p> <p>熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業は、熊本県内の民間社会福祉事業を営む事業所（社会福祉法人）に勤務する職員の皆様の将来の生活安定を図ることを目的とした、加入者にとって大変有益な退職共済です。毎月加入を受け付けており、制度に加入している事業所間の継続異動もできます。</p> <p>各種手続き及び事業内容については、総務課までお問い合わせください。</p>	<p>◆市町村社協トップセミナーのお知らせ◆</p> <p>日時 平成24年6月29日(金) 13:30～15:10 会場 熊本全日空ホテルニュースカイ テーマ 「『絆』の時代における社協の重要性（仮）」 講師 法政大学現代福祉学部 教授 宮城 孝 氏 参加費 2,000円 申込締切 6月22日(金)</p> <p>※詳細は文書・メールリングリストにてお知らせします。</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆社会福祉法人労務研修会のご案内◆</p> <p>日時 平成24年7月24日(火) 13:30～16:30 会場 メルパルク熊本 3F「阿蘇」 テーマ 「採用から退職までの労務管理」 ～法改正、採用面接の仕方、労務トラブル事例、60歳以降の給料のあり方、その他～ 講師 特定社会保険労務士 上田吉勝 氏 参加費 3,000円 申込締切 7月4日(水)</p>	<p>◆生活福祉資金相談員等の配置について◆</p> <p>増大する生活福祉資金貸付事業の円滑化を図るため、県の緊急雇用創出基金事業の一環として、平成21年度から、相談支援及び申請の窓口となる市町村社協に相談員を配置しています。本年度も18社協に20名の相談員を配置し、生活困窮世帯への自立支援を展開しています。配置社協は以下のとおりです。</p> <p>(熊本市、八代市、荒尾市、水俣市、玉名市、天草市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、あさぎり町)</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
<p>◆平成24年度社会福祉主事通信課程のお知らせ◆</p> <p>全社協中央福祉学院が実施する標記通信課程秋季コースの受講者募集が開始されました。受講を希望される方は、次のとおり受講案内を入手のうえお申込みください。</p> <p>【受講案内の入手方法】 ○中央福祉学院webサイトより申込書をダウンロードしてください (http://www.gakuin.gr.jp/)。なお、インターネットに接続できない方は、福祉人材・研修センターまでお問い合わせください。申込期限：平成24年6月30日(土)</p>	<p>◆平成23年度の利用状況について◆</p> <p>平成23年度の新規契約者数は、次のとおりです。 認知症高齢者：131名／知的障がい者：27名／精神障がい者：40名／その他：1名／合計199名</p> <p>また、同年度中に133名の解約があり、平成24年3月末時点での実利用者は、683名となっています。</p> <p>平成24年4月末現在、全市町村で事業を実施しており、42カ所の市町村社協でサービスの提供を行っています。今後も積極的に事業の利用促進に取り組めます。</p>
ボランティアセンター	お知らせ
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	TEL 096-324-5471 / FAX 096-324-5456
<p>◆今年は「くまモン」と「ボランティアの星^{ハート}」のピンバッジでボランティア活動日本一を啓発!◆</p>  <p>『ボランティアの熱か^{ハート}心^{ハート}を笑顔でお届けする「くまモン」』をデザインしたボランティア活動日本一推進運動用のピンバッジの見本(写真左)が完成しました。</p> <p>6月下旬に推進機関等に配布した後、希望者には1個500円(税込)での頒布も行います。</p> <p>縦28mm×横18mm</p>	<p>◆九州ブロック地域福祉研究会議のお知らせ◆</p> <p>日時 平成24年7月12日(木)～13日(金) 会場 ホテルニュー長崎 テーマ 「地域の福祉力向上に私たちはどう関わるのか」 基調報告 「地域福祉の推進と社協の役割（仮）」 分科会 ①地域福祉活動の活性化への工夫 ②オール九州での災害支援・日常の連携に向けて ③福祉サービス利用援助事業のあり方を考える ④コミュニティソーシャルワークの事例と手法 ⑤社会福祉法人の存在意義と、社会福祉法人の間の繋がり</p> <p>参加締切 6月13日(水)</p>